

三月

木々朗

手にうけし鶯餅のしなやかに
瀬戸の皿うぐいす餅の粉のみどり
名代の味に似せたる木の芽和
山辺なる昼のおにぎり木の芽漬
如月やほのと彩ある雑木林

3月 弥生 雑詠

細田安治

春さきに 草木競うし われがさき
土起こし 大地ゆさぶる みどり芽
春眠や 暁覚えず 夢うつつ
たゆたうと 行きつ戻りつ 季節感
山すそに かすみたなびく 里の春
夢うつつ 朧月夜に 気もそぞろ